

チハルさんはだーれ？

心地よいコミュニケーション

【学習のねらい】

- ・自分もっている情報の中で、何が大切かを判断し、グループの話し合いの進行状況に応じて、必要な情報をタイムリーに提供できる力をつける。
- ・グループの中での自分の役割を見つけ、課題達成へ向けて積極的に貢献できる力をつける。

【準備するもの】

- ・筆記用具（各自）。
- ・情報カード（グループ1セット）。
- ・メモ用紙（必要に応じてグループに1枚）

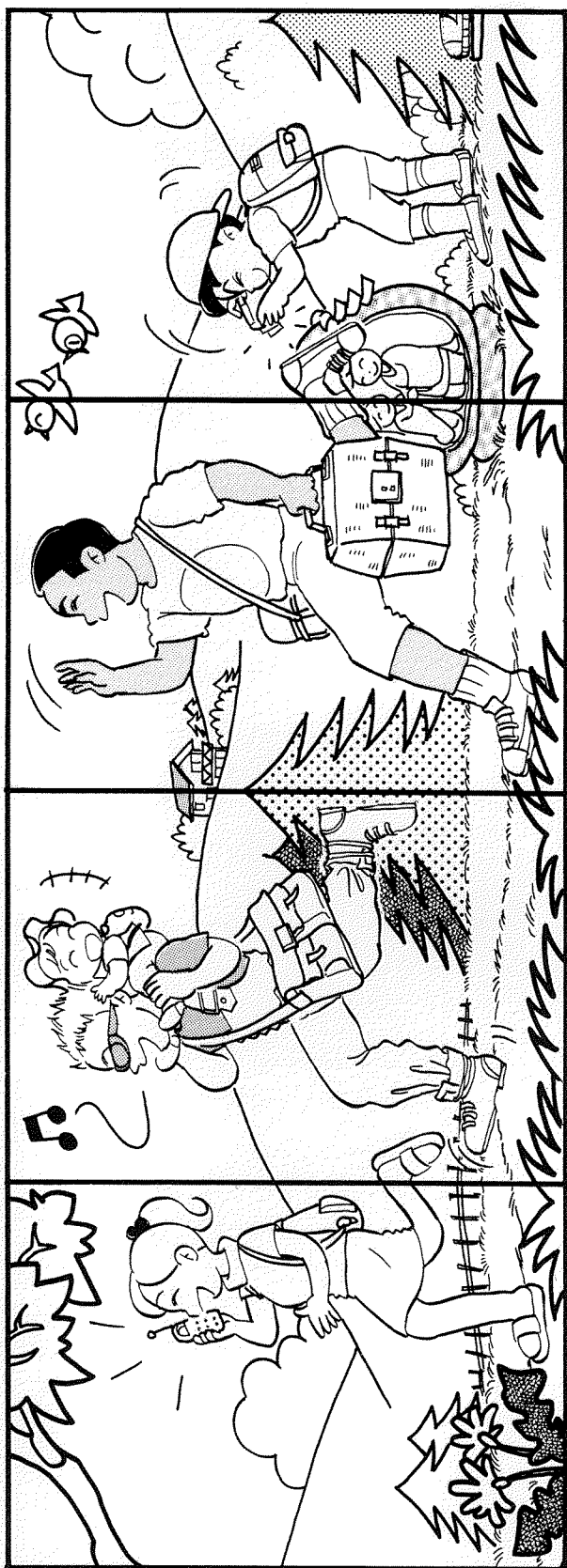
【進め方】

- (1) グループ（5人～7人）に分ける。
- (2) 「これから、チハルさんはだーれ？というグループワークトレーニング（GWT）をやります。協力して答えを出しましょう」
- (3) 情報カードを1人1枚ずつ裏にして配るよう指示する。グループの人数によって、カードの枚数を後ろから調整する。（6人グループの場合は、一番後ろのカードを1枚抜き、6枚にする）
- (4) 課題を説明する。
「この情報カードには、ハイキングをしている人の絵が描いてあります」
「課題は、“車椅子を介助しているチハルさんは、前から何番目のカードにいますか”に答えることです」
「カードを人に見せたり、手渡したりせず、情報は口頭で伝えてください」
「答えがわかったら、グループのみんなでバンザ〜イと叫んでください」
「時間は20分です。では、始めてください」
- (5) ファシリテーターはバンザ〜イと叫んだグループに行き、答えを確認する。
- (6) 何人かに感想を発表してもらう。

【発展】

チハルという名前は、男性にも女性にもある名前であり、対象者や学習のねらいによって、カードの中の誰をチハルさんにするかファシリテーターが決めてもよい。

※参考図書：「協力すれば何かが変わる」遊戯社



【チハルさんはだーれ?】

- ・グループの人数によって、カードの枚数を調整して使ってください。
- ・1グループ7人まで可能です。
- ・6人の場合は、最後のカード（スケッチ ブックを肩にした女性）を除きます。

